

平成 21 年度花壇管理状況

藤本昭一・土井環*

昨年に引き続き、平成 21 年度も、花壇花材に新規の 2 品目を加え植栽を行った。また、部分的にタイルを敷いてデザインに変化をつける場所を一か所追加した。管理面では、昨年同様、かん水チューブを使用した。表 1 に花壇植物植栽状況を、図 1～7 に各花壇の植栽デザインを示した。

新規品目について

5 月上旬から 8 月下旬頃まで観賞可能な以下の 2 品目を導入した。

なお、両品目とも市場流通がほとんどないので、当園の所有株を使用した。

カンナ・ビューブラック（カンナ科）

昨年ゲート前の階段で使用して来園者に好評だったカンナを大花壇の中央の銅像を取り囲むように植栽した。夏をイメージできる品目でもありまた、銅葉で草丈も高いため花壇のよいアクセントになった。ただ開花時期に上部が重たくなり茎が倒れやすく、倒伏した茎を起こしたり、除去するなど手間がかかった。

オリヅルラン（ユリ科）

タイル部分に接する芝生が植栽植物に覆われ衰弱するため芝生との間に緩衝帯としてオリヅルランを植栽した。斑入り種を用いたのでタイルの縁取りとして芝生とよくマッチしアクセントになった。

植栽デザイン

昨年同様、大花壇・芝生北花壇に部分的にタイルを敷いて、花壇のアクセントとした。今年度はさらに、大花壇中央の銅像の背面にもタイルを敷いた。これによって花壇中心部に入ることができ日常管理がより容易になった。全体のデザインは、三角形やひし形を組み合わせたものとし、花壇中央にポイントができるようなデザインとした。大花壇では中央部にアクセントが来るように草丈が高いカンナや大きく茂るピンカ・トコナツを配置した。

ガーデニングおすすめ品種展示花壇の継続設置

昨年度に引き続き、大温室横花壇・芝生北花壇で、

種苗会社 4 社と共催で、「ガーデニングおすすめ品種展示」を行った。サンパチェンス・キッズは、草姿がコンパクトにまとまり茎の倒伏が少なかった。チョコレートコスモスの‘ほっとチョコ’は夏越し後は、晩秋まで開花が長く続いた。ペチュニアの八重咲き種は雨で少し傷んだが秋には花数が増え豪華な印象だった。ジニア・ザハラはよく茂り開花数も多く長く観賞できた。これらの品種は、花壇に有望と思われる。

栽培管理状況

各植物の生育状況は表 2 のとおりである。

パンジー（H 20 年度植え付け分）：ゴールドウィーク明けの植え替えまで良好な状態を保つため、4 月中旬にすべての花壇において花がら取りを行った。灰色かび病が発生していたので、殺菌剤ゲッター水和剤（希釈倍率 1000 倍）を散布し防除した。H 21 年度植え付け分のパンジー‘オトノ オレンジ’‘オトノ イエロー’では、2 月下旬と 3 月中旬に花がら取りを行った。3 月に灰色かび病の発生が多くなったのでゲッター水和剤（希釈倍率 1000 倍）を散布し蔓延を防止した。

ペゴニア・センパフローレンス：灰色かび病が一部で発生したが殺菌剤トップジン M 水和剤（希釈倍率 1500 倍）を散布することで蔓延は防げた。

コリウス‘ハイウェイホワイト’、‘レッドベルベット’：‘ハイウェイホワイト’は、生育も発色も良かった。これに対し‘レッドベルベット’は植え付け初期から花穂が上がりはじめ、発色は良好であったが生育は劣った。コリウスは今後も、品種を検討する必要があとと思われる。

サルビア・スプレンドゥス、サルビア・ファリナセア：小花壇と芝生北花壇以外は 8 月下旬に植え付けた。スプレンドゥスは、1 番花以降の開花が遅れたため花がらが、目立った。ファリナセアは、生育後半にチャノホコリダニの被害が発生した。殺ダニ剤としてカネマイトフロアブル（希釈倍率 1000 倍）を散布し防除した。

かん水チューブは 11 月の植え替え時に撤去した。

ハボタン‘白ほど’‘紅ほど’：1 月下旬に菌核病が発生した。症状が進行したため、2 月上旬にすべて抜き取った。

アイスランドポピー‘ドワーフカクテル ミックス’：ハボタンが傷んだため、予定より早く 2 月中旬に植え付けた。植え付け時に蓄を持っていなかつ

* 現（財）広島市農林水産振興センター

たが、3月下旬から少しずつ花が上がってきた。矮性種のためパンジーとの草丈のバランスが良かった。

デージー：寒さで傷むことなく順調に生育した。

表 1. 平成 21 年度花壇植物植栽状況

花壇名	初夏	夏	秋	冬	早春
大花壇	ピンカ (トコナツ) パープル① ピンカ (トコナツ) ライオン② ペゴニア・センパフローレンス 赤③ ペゴニア・センパフローレンス 桃④ ペゴニア・センパフローレンス 白⑤ カンナ (ビュープラック) ⑥ オリヅルラン ⑦ (5月8日植え付け)	コリウス(ハイウェイホワイト) 白緑④⑤ コリウス (レッドベルベット) 赤③ (7月10日植え付け)	サルビア・ファリナセア 赤① サルビア・ファリナセア 青② サルビア・スプレンドゥス 白③ (8月21日植え付け)	ハボタン (丸葉) 赤① ハボタン (丸葉) 白② パンジー 楡③ パンジー 黄④ (11月21日植え付け)	アイスランドポピー 混合①② (2月19日植え付け)
中花壇	ペゴニア・センパフローレンス 赤① ペゴニア・センパフローレンス 桃② ペゴニア・センパフローレンス 白③ ハナアロエ ④ (5月8日植え付け)	コリウス(ハイウェイホワイト) 白緑① コリウス (レッドベルベット) 赤②③ (7月10日植え付け)	サルビアファリナセア 青① サルビア・スプレンドゥス 赤②④ サルビア・ファリナセア 白③ (8月21日植え付け)	パンジー 黄① パンジー 楡②③ ハボタン (丸葉) 赤④ (11月27日植え付け)	アイスランドポピー 混合④ (2月19日植え付け)
小花壇	ハナアロエ(5月8日植え付け) ① ヒマワリ ② (マツチキン、ティディーベア、ダブルタンディー) (6月18日植え付け) ワレライシ (鳥さんご、白いし) ③ (5月19日植え付け)	(7月10日植え付け)	サルビア・スプレンドゥス 赤①③ サルビア・ファリナセア 青②④⑥ (9月25日植え付け)	パンジー 楡①⑤ パンジー 黄③④ ハボタン (丸葉) 赤② (11月20日植え付け)	アイスランドポピー 混合② (2月19日植え付け)
カスケード前	アンゲロニア (セレナ) パープル① アンゲロニア (セレナ) ライオン② ピンカ (トコナツ) ライオン③ ピンカ (トコナツ) パープル④ ペゴニア・センパフローレンス 赤⑤⑥⑦ ペゴニア・センパフローレンス 桃⑧⑨⑩ ペゴニア・センパフローレンス 白⑪ (5月8日植え付け)	コリウス(ハイウェイホワイト) 白緑①⑧⑨⑩ コリウス (レッドベルベット) 赤②⑪ (7月10日植え付け)	サルビア・スプレンドゥス 赤① サルビア・ファリナセア 白② サルビア・ファリナセア 青③ (8月21日植え付け)	パンジー 黄① パンジー 楡② ハボタン (丸葉) 赤③ ハボタン (丸葉) 白④ (11月27日植え付け)	アイスランドポピー 混合④ (2月19日植え付け)
カスケード 池下	ペゴニア・センパフローレンス 赤① ペゴニア・センパフローレンス 桃② ペゴニア・センパフローレンス 白③ ハナアロエ ④ (5月8日植え付け)	コリウス(ハイウェイホワイト) 白緑① コリウス (レッドベルベット) 赤② ハナアロエ ③ (7月10日植え付け)	サルビア・スプレンドゥス 赤① サルビア・ファリナセア 青② サルビア・ファリナセア 白③ (8月21日植え付け)	デージー 薄桃① パンジー 黄② パンジー 楡③④ (11月13日植え付け)	(2月19日植え付け)
大温室横	チョコレートコスモス(3品種) ペチュニア (2品種) (6月9日植え付け) シニア・ザラ巻 (9品種) 苗 (6月8日植え付け)			パンジー ライオン① パンジー 紫② パンジー ピンク③ パンジー ローズ④ パンジー 黄⑤ パンジー 楡⑥ (11月16日植え付け)	
芝生北	サンパチェンス(9品種) マウズシア・イエローカサネ スーパール・ネオンローズ (5月18日植え付け)			パンジー ライオン① パンジー 紫② パンジー ピンク③ パンジー ローズ④ パンジー 黄⑤ パンジー 楡⑥ (11月18日植え付け)	
	ピンカ (トコナツ) パープル① アンゲロニア (セレナ) ライオン② アンゲロニア (セレナ) パープル③ (5月8日植え付け)		サルビア・ファリナセア 青②③ (9月25日植え付け)		

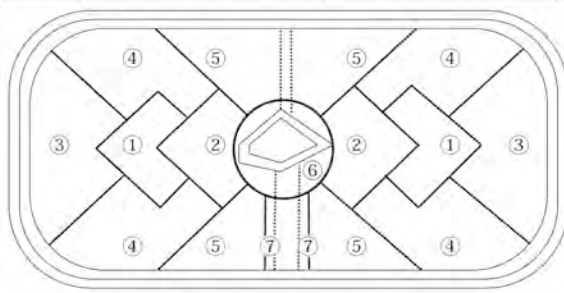


図 1-1. 大花壇 (初夏・夏)

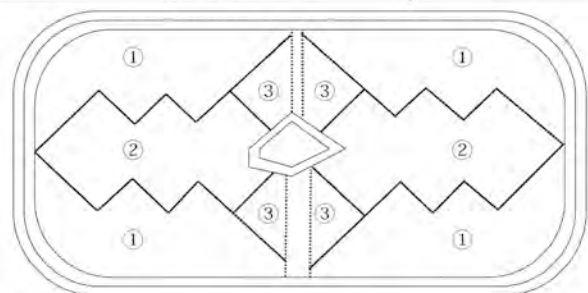


図 1-2. 大花壇 (秋)

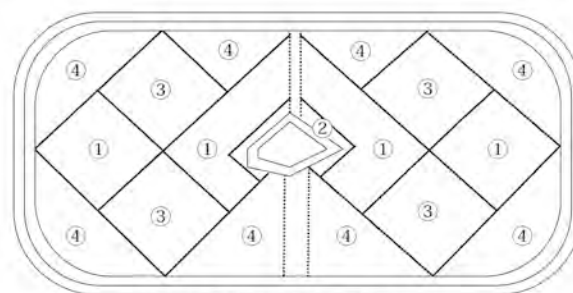


図 1-3. 大花壇 (冬・早春)

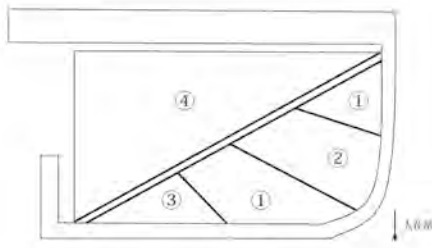


図 2-1. 中花壇 (初夏・夏)

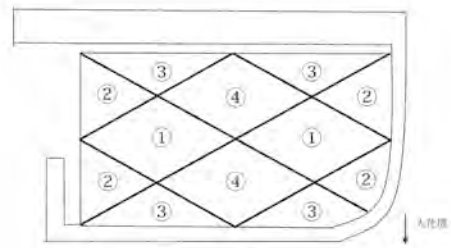


図 2-2. 中花壇 (秋・冬・早春)

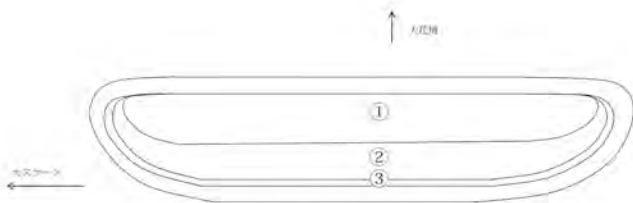


図 3-1. 小花壇 (初夏)

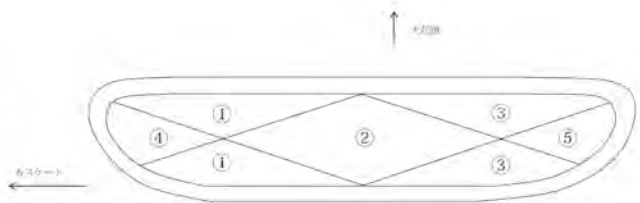


図 3-2. 小花壇 (秋・冬・早春)

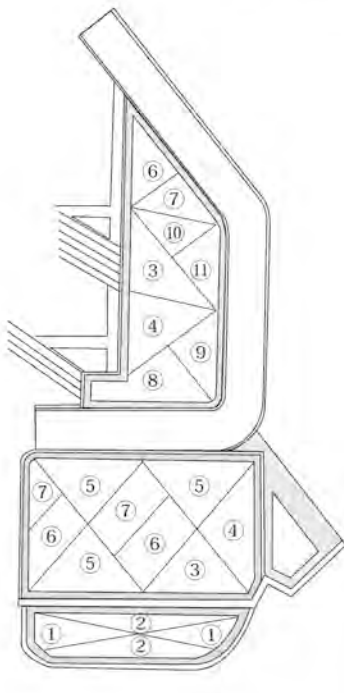


図 4-1. カスケード前花壇 (初夏・夏)

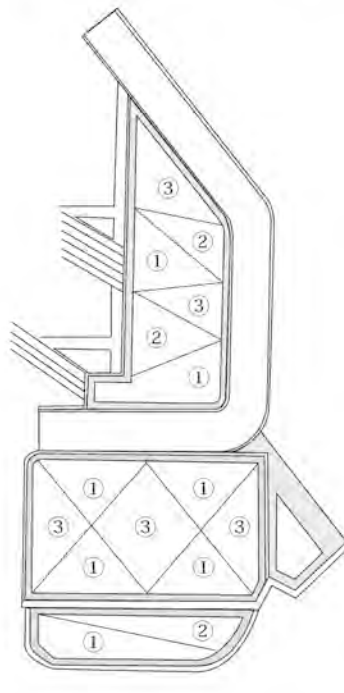


図 4-2. カスケード前花壇 (秋)

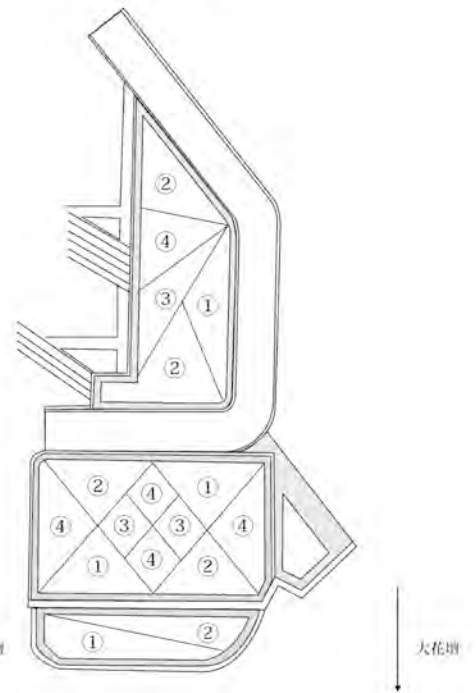


図 4-3. カスケード前花壇 (冬・早春)

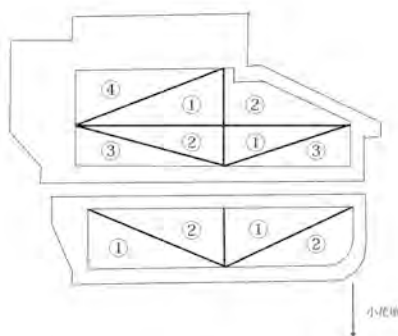


図 5-1. カスケード池下花壇 (初夏)

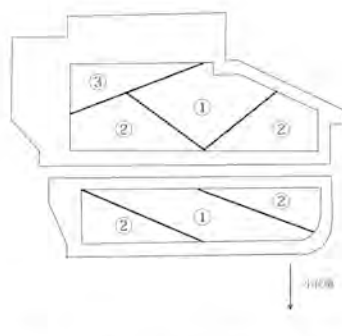


図 5-2. カスケード池下花壇 (夏)

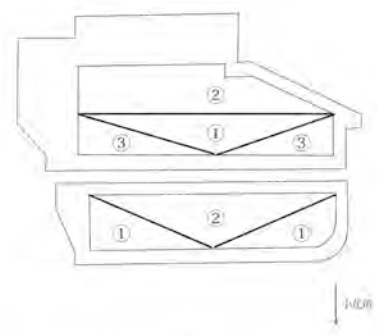


図 5-3. カスケード池下花壇 (秋・冬)

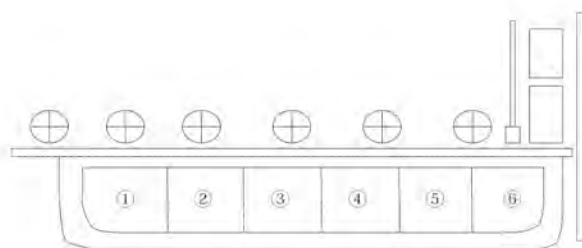


図 6. 大温室横花壇 (冬)



図 7-1. 芝生北花壇 (初夏・秋)

図 7-2. 芝生北花壇 (冬)

表 2. 平成 21 年度花壇植物生育状況

	生育状況	評価
ペゴニア・センパフローレンス	期間を通じて良好だが一部灰色かび病が発生	○
コリウス	品種による生育差があり 今後も品種選定が必要	△
ハナアロエ	梅雨時期に株が蒸れる	○
ツルレイシ	9月に入ると葉が黄変する	○
サンパチェンス	生育良好だが一部に白絹病が発生	○
サルビア・スプレンドゥス	猛暑のため活着まで時間がかかる 2番花が遅れた	○
サルビア・ファリナセア	チャノホコリダニが発生	○
カンナ・ビューブラック	期間を通じて良好だが開花時に茎が倒伏しやすい	○
オリヅルラン	生育良好、斑入り種なのでアクセントになる	○
ピンカ・トコナツ	梅雨期の立枯病に強く耐乾、耐暑性に優れる	◎
アンゲロニア・セレナ	短期間でボリュームが出るが、蒸れて枯れ上がりやすい	○
パンジー	開花数、株立ちともに良好、一部に灰色かび病の発生	○
ハボタン	白葉種に寒害発生、一部に菌核病発生	△
デージー	期間を通じて良好だが一部に乾燥による傷みがみられた	○
アイランドポピー	生育、株立ちともに良好 華やかさに優れる	◎

◎：有望、○：十分使用可、△：時期、場所を選べば使用可、×：使用不可

今後の取り組み

ガーデニングおすすめ品種展示花壇において各種苗会社から最新品目の提供を受けているが、この中から新たに花壇用種苗となる品目を検討し、積極的に導入していきたい。

来園者から要望のあった小花壇に植栽するツルレイシの果実販売について、食用で販売できるよう、使用農薬を見直す。